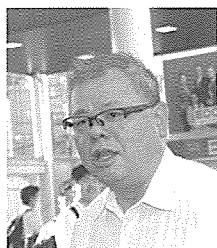


尾張南支部

知多半田駅前で知多県民センターと合同で不法投棄防止啓発活動を行う。

尾張南支部(金田英和支部長)の不法投棄防止キャンペーン活動として、6月1日(金)午後5時30分より名鉄知多半田駅東口広場において、尾張県民事務所知多県民センターの職員の方と共に、『不法投棄防止』と書かれたノベルティを配布する街頭キャンペーン活動を行いました。参加者は支部会員15名と尾張県民事務所知多県民センター環境保全課長 野末 治氏をはじめ4名の職員の方が参加されました。



挨拶をする知多県民センター 野末課長

はじめに金田支部長から不法投棄防止啓発活動の主旨が述べられ、次に野末課長から「愛知県では県内各地で清掃活動、不法投棄防止パトロールや啓発活動等に取り組んでおります。知多管内においては尾張南支部(愛産協 環境月間6月1日～6月30日)の皆様と共に啓発活動に取り組んでおり、おかげをもちまして一定の成果を上げることが出来ていることに感謝申し上げます。」との挨拶がありました。

キャンペーン活動は知多半田駅を中心に展開し、駅北のショッピングセンターへ向かう歩道、駅南のバスターミナル周辺、駅西の商業施設出入口近辺、



知多県民センターの方々と参加された皆さん

駅ホームへの昇降階段付近にて、交通機関の利用者や買い物客など多くの市民の方へ、ノベルティの大判ウェットティッシュ500個と多数のハンドタオルとティッシュ(県民事務所提供)を配布し、不法投棄防止の啓発活動に努めました。

今回で4回目を迎える啓発活動ですが、活動当初は『不法投棄防止』と書かれたノベルティをなかなか受け取ってもらえませんでした。しかし当日は市民の方から「また、この季節かね。」と親しく声を掛けられ、配布している会員の顔が思わずほころぶような場面もあり、知多半田駅前での不法投棄防止啓発活動が市民に浸透してきていることを実感しました。

全てのノベルティを配布し終え、金田支部長、野末課長から啓発活動に参加された方々へ感謝の言葉が述べられました。その中で当日のノベルティの配布状況が好調だったことを受け、野末課長から来年の配布量の増加を検討したいとの提案があり、支部会員の次年度への大きな励みとなりました。



駅前ロータリーへ行き交う方々にノベルティを渡し不法投棄防止をアピール